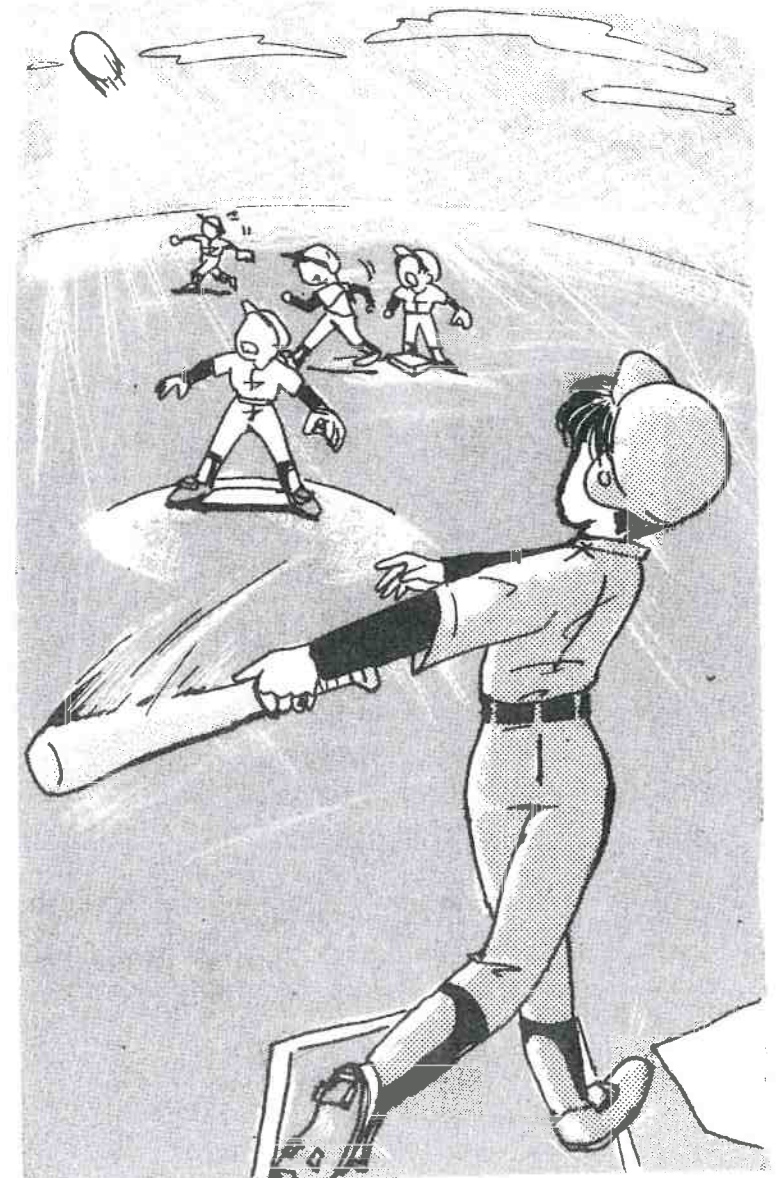


ふれあい 雪谷

平成七年

あさがお号



大森第六中学校 3年 松本 京子さんの作品



大森第六中学校

区立学校紹介

「緑が豊かな六中での生活」

僕が、「大森第六中学校はどんな学校ですか。」と聞かれたときにまず思い浮かぶのは、緑が豊かなとても素晴らしい環境の中にある学校だということです。学校の周りには毎年写生会を行なう洗足池があり、校庭は多くの緑に囲まれています。このような環境に恵まれた場所で学校生活を送れる僕たちは本当に幸せだなと思います。また、先生方もとても素晴らしい方ばかりでいろいろなことをご指導してくださり、六中生活は毎日楽しく生活しています。

こんな毎日の学校生活の中で、なくてはならないものがあります。それは部活動と委員会です。生徒一人一人が、自分の興味のある部活に入り顧問の先生のもと、一所懸命がんばっています。放課後の学校をのぞいてみると、校庭では野球部やサッカー部が元気に走り回っている姿が見え、体育館からはバスケットボールやバレーボールの音、音楽室からはプラスバンドの演奏が響きわたってきます。一方、委員会活動も生徒が積極的に取り組んでいるものの一つです。たんに委員会活動といってもいろいろな委員会があり、仕事はさまざまです。どの委員会も「この大森六中学校を、よりよい学校にするぞ。」という共通の目標のもとに活動しています。

そして、一年間のうちでもっとも生徒がはりきる行事が運動会と文化祭です。この行事は生徒が中心となり、先生のアドバイスをを受けながら作り上げていきます。校内が運動会や文化祭一色に染まっていきます。

今年の運動会は、『95全力疾走宣言』というスローガンで、一年から三年までの生徒が協力し合い、生徒全員がスローガンのように『全力疾走』しました。

(生徒会長 村井 弘海)

編集後記

平和と日本を揺るがす阪神大震災に加え、無差別テロ事件等の凶悪犯罪多発。編集会議での和やかなやり取りの中でわがまちの平穩に感謝する。地域の公立小・中学校紹介シリーズも、今回で9校全てを終了。執筆して頂いた先生・生徒のみなさんありがとうございました。出張所事務局のスタッフが、人事異動で変わりました。新任スタッフのバックアップを得て編集内容の充実を目指します。

(石川台 三浦 悦次)

〔発行〕わがまち大田雪谷地区推進委員会
〔編集〕ふれあい雪谷編集委員会
連絡先 大田区雪谷特別出張所内
大田区東雪谷四一三二二三
電話 三七二九一五一一七
〔発行日〕平成七年七月一日
通巻 第十九号

まろちがと

『山下山児童公園』

雪が谷大塚駅から雪谷小学校へ行く道筋の、南雪谷三丁目七番に山下山児童公園が出来ました。周りに、イタヤカエデ、エゴノキ、ヒメシヤラ等の珍しい高木が配置され、根元に山吹、クルメツツジ等が植えてあります。どの木にも由来等の説明札がついていて、ちょっとしたミニ植物園の感じです。遊具も従来のものと異なったデザインで、その下には木屑が敷きつめてあり、吸水性とケガ防止かと考えられます。

☆東司とは、仏教の廁(トイレ)のことを言うそうです。



(南雪谷 渋谷十四子)

散歩道

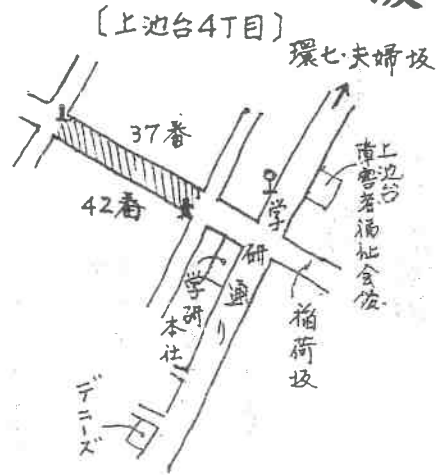
鶴の巣坂

学研本社の北側から北西に登っている長さ約一五〇mの急な坂で、かつて、鶴(こうのとり)の巣があったといふことからこの付近を鶴の巣山と呼ばれていたといわれ、坂名はそれにちなむのであろう。

古老の話では、昔は、坂上辺りに定住しないで自然人のような生活をしている人々がいたそうである。

また、坂下に残っていた水路は「鶴の巣流れ」と呼ばれ、かつては用水路として、近年は排水路として使用されたが、下水道の敷設により埋められた。

(小池 樽村 昌安)



洗足池公園に新名勝

白木の三重太鼓橋が竣工

公園の改修工事が次々と進む中、このほど、西岸の八幡宮下に、美しい白木三重太鼓橋が、竣工した。「池月橋」と命名され、去る4月20日に、竣工記念式典が盛大に開催された。



洗足池は、江戸時代、絵師安藤広重がこの池周辺の美しさに心を動かされ、「名所江戸百景」に描き残されているなど、江戸近郊の景勝地として知られ、平成の現在も知名度は高い。

八幡宮を正面に向かい、この橋を渡り歩くと、左岸にこんもりと茂った大樹が目立つ。この樹は「メタセコイヤ」という、貴重な化石植物として知られていたが、1945年に中国四川省で、原生種が発見された。杉科でアケボノ杉ともいわれ、生育が早く、世界各地で公園の木や街路樹として珍重されている。濃いみどりの葉が、繁茂する姿は荘厳の観。どこから集まってくるのか野生のインコの群れが、この樹を好み、賑やかな定宿にしている。

東岸からの展望が、また素晴らしい。端麗な三つのアーチを構えた橋が、広い池の面に輝いて絵の様に映し出され、メタセコイヤの群木が、1本の大樹に見える。美しい橋の白さと、濃緑樹のコントラストは、自然美の中の人工美として絶景。立派な新名勝に、ふさわしく仕上げられている。

素敵な環境に恵まれて、子供達は、美しい風景を、わが街の誇りとして心にきざまれよう。また高齢の方々にとって、つれづれの散策は、いつとき心の和む憩いの場となっている。

(池の台 國府方 進)

大田区土木部公園課より

大田区では、これからも釣堀の跡地や周遊園路の整備など行う予定です。

それぞれの区民の方々の心に残る洗足池のイメージをこわさないように、また、次代に残す貴重な自然として、遅れず、急ぎ過ぎず、じっくりと整備していきます。

綱引き選手募集

雪谷地区では、今年も綱引きチーム（雪谷 Canyon）を編成し、10月10日体育の日の「区民スポーツまつり」を目指し、毎週金曜日の午後7時より池雪小学校で練習しています。

昨年は六位入賞を果たしました。今年はさらに上位入賞を目標に頑張っています。

次の通り、選手の募集をしていますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

年齢 18歳以上

男女を問
いません。



また選手の練習相手も募集しています。どうぞ体育館に来て汗をながしてみませんか。

問合先 雪谷特別出張所 地域振興係
電話 3729-5117

いつまでも地域の中で

日本は今、急激な高齢社会をむかえようとしています。私たちは、誰もが迎える老いを悲慘なものとして考えたくはありません。体力の衰えや記憶力の減退はさけることができなくても、いきいきと自立した生活を続けることができれば、幸せではないでしょうか。それには、身近に知人や友人がいること、自立生活を支える暖かい目と手助けがあることが必須条件です。でも、様々なハンディを家族や隣人の善意だけで支えることはできません。また公的なサービスだけでは各人の状況にあった、きめ細かい福祉は難しいでしょう。

今後の高齢社会が明るいものになるかどうかは、この両方をいかにバランスよく構築できるかにかかっていると思います。

私たちは、地域の中で支えあい、楽しく生きるための活動の第一ステップとして、雪谷と石川町の文化センターで、月に一日ずつ昼食を用意し近隣のお年寄りと会食をしています。参加を希望される方、関心をお待ちの方はご連絡下さい。

問合先：『遊』 川村 弥代美

TEL 3726-0951

バス停「荏原病院前」に上屋が完成

5月上旬、病院側のバス停に上屋が取り付けられました。昨年10月の雪谷地区自治会連合会による大田区への陳情がきっかけとなって、大田区、東京都、東急バス等の関係者の努力が実りました。

自治会リレー随筆

中原街道での出来事

中原街道の歴史は古く、東海道の裏街道として、庶民に親しまれて重用されて来ました。

今から400年前（江戸時代初期）徳川家康の頃のお話です。

家康が関が原の合戦で石田三成を破ったのが、慶長5年、8年には征夷大將軍に任ぜられて江戸幕府を開きました。10年には、將軍職を秀忠に譲り、今の静岡の駿府城に隠居しました。

天下の一大事が起きたのは、大御所と呼ばれた、隠居中の出来事です。

徳川三代將軍を誰にするかで、江戸城内は大騒ぎになりました。乳母の春日局が駿府の家康に相談に行った処、家康はお世継ぎ問題で、これ以上もめると徳川家の将来が危ないと思い、すぐに江戸城に入り家光を三代將軍に決定したのです。

その帰路、家康は、中原街道を通り、今の川崎市中原区小杉町あたりで急に腹痛を起しました。その知らせを受けた秀忠は副將軍伊達政宗を供にして、今の目黒あたりで鷹狩りをしていました。急ぎ馬を飛ばして父の見舞いに駆けつけました。天下の將軍と副將軍が、大御所様にお会いすると云う件です。徳川15代、幕府260年の基礎を築いた家康は、中原街道丸子橋近く、西明寺あたりで75才の生涯を閉じたという説があります。時に元和2年（1616年）でした。

(東 雪 小鶴 広)

俳句

東の間の虹連峯を収めけり
釣り上げし荒瀬の鮎や雷躍る

(小池 金子 静子)

夏菊の短く咲いて供華となり
向日葵の伸びてはかなき片思い

(東 雪 水野 喜久)

青葉闇湧水の音珊々と
一陣の風に騒立つ流燈会

(希望ヶ丘 松川 五十五)

